

令和5年5月16日

## 倉庫業青年経営者協議会との意見交換会の開催について

(公社)全日本トラック協会青年部会(金井健蔵部会長)と倉庫業青年経営者協議会(富永太郎会長。以下「倉青協」という。)は、令和5年5月16日(火)、TKP東京駅カンファレンスセンター(東京都)にて意見交換会を開催した。

倉青協との意見交換会は令和2年以来の開催となり、今回は「働き方改革への対応」をテーマに掲げ対面で開催した。全ト協青年部会から正副部会長8名、倉青協から役員・広報委員会委員8名の計16名が参加した。

冒頭、金井部会長から「本日は、『働き方改革への対応』をテーマにしっかり意見交換をさせていただきたい。トラック運送業は『2024年問題』で注目を集めているが、我々の業界だけでは解決できない問題もたくさんあるので、倉庫業の皆様とより良い関係を築いていきたい」と挨拶し、続いて倉青協富永会長から「『2024年問題』には倉庫業としても強い関心を持っている。本日は倉庫業の立場で参加しているが、自社では運送事業も営んでいる。同世代の仲間として、各社の取組や課題について具体的な意見交換をさせていただき、今後ともお付き合いさせていただきたい」と挨拶を頂戴した。

続いて両団体参加者が自己紹介を行った後、意見交換を行った。まず、トラック運送業界・倉庫業界の両業界における働き方改革の状況について、全ト協青年部会の工藤副部会長、倉青協の小山副会長からそれぞれ説明を行ったのち、自由に意見交換を行った。

参加者からは、予約受付システムの導入と課題、輸送・倉庫オペレーションの効率化事例、荷主との勉強会の開催などについて活発な意見が挙げられた。

最後に、乗本副部会長が閉会を宣言し、意見交換会を閉会した。その後、懇親会を行い、引き続き両団体の交流を深めた。



意見交換会の様子①



意見交換会の様子②



集合写真

以上